

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンすまいる・しのめ				公表日	令和7年3月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	テーブルなどの備品の配置を変えながら、広い空間を確保しています。	中高生の事業所なので、身体が大きく成長しており、動きが多い児童もいるため、ぶつかりそうになったりすることがあります。パーティションでしきったりしているが少し狭いように感じています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		備品類を移動し、広さを調整しています。	トイレには手すりが設置されていますが、車椅子と職員が入るとスペースが狭いと感じています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		人数が多い時は落ち着かない児童もいるので、その際はパーティションで仕切り、環境調整を図っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		パーティションで仕切ったり、部屋のコーナーを活用して静かな個別の空間を作っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者及び利用児童のニーズを聴き取り、より良い支援に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		朝のミーティング及び支援後の振り返りなどの機会に意見を集め、検討しより良い支援に向けて業務改善をしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	外部評価は行っていませんが、業務改善に向けて話し合い、実践しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域を網羅した内容で立案し、取り組みやすい目標を設定しています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		週ごとにリーダーを輪番させ、静と動の活動でメリハリをつけたカリキュラムを組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節感あふれるものを実施し、マンネリ化しないように考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		朝のミーティングや非常勤の方が出勤後に振り返りを行い、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリング時に分析及び検証を行い、本人の現状に合う支援かの見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自立課題では、3つ程課題を提示して自己選択が自由に出来るようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	中高生が主体の利用なので、学校や併用施設（放デ）と情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			可能な限り研修に参加したいと考えておりますが、連携を図る機会が少ないと実感しております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	子ども食堂に壁面を展示してもらったり、年に1～2回程同法人の放デと交流する機会を設けています。	地域のこどもたちと触れ合えるような地域の行事があれば参加したいと思っておりますが、少子化で行事がなくなっています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	法人の代表が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日頃より、当事業所の様子を伝え、保護者の方々からは家庭や学校の様子を伺い、会話を持つように心がけています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者学習会では、成長や進路と共に変化するニーズを掘り起こし、テーマとしております。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5			夏祭りや保護者学習会やクリスマスライブなど、きょうだいを含む家族の参加を呼びかけています。その際他家族と交流出来るよう、仲立ちをしております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			十分傾聴し、迅速かつ適切な対応をするようにしております。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			事業所の月便りやホームページ、玄関前の掲示物にて情報発信に心がけています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			絵カードやコミュニケーションアプリを活用して、本人に合わせた意思決定支援を実施して居ります。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		夏祭りでは町内の回覧板、ポスティング、地域の学校や商店へのポスター掲示にて、地域住民を招待いたしました。 夏祭りでは、地域住民に声をかけたが、法人以外はわずかな来訪者であった。まだまだ当事業所の知名度は低いので、周知活動の工夫が課題に挙がっています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			各種マニュアルを玄関付近に設置し、誰もが自由に閲覧出来るようにしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			定期的な訓練及び研修、シミュレーションを実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			服薬やてんかん発作時の対応、休息の取り方などを保護者に確認し、変化がないかもコンスタントに聴き取りを行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			医師の指示を保護者を通して対応しています。食物制限のある食材においては、定期的な確認を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			毎月の事業所内安全点検の他、利用者を含めた安全学習も毎月行い、周知徹底を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			非常災害連絡先や受け渡し方法を定期的に確認し、名簿等の作成を実施しております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			ヒヤリハット事例検討を行っております。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			毎月セルフチェックリストで自身の振り返りを行っています。また伝達研修を計画的に行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			職員間で条件3項目を十分検討し、保護者及び本人へ説明と同意を行ってから実施していません。また記録や計画書への記載も忘れずに行うようにしています。	